

## 189. 超大型連休を前に…

技術戦略部次長 橋本敏一

今年のゴールデンウィークは、新天皇が即位される5月1日が祝日となるため、4月26日（土）から5月6日（月）までの10連休となります。

最新の世論調査によれば、10連休の過ごし方は、「自宅でゆっくり過ごす」が6割強で最多とのことですが、読者の皆さまはいかがお過ごしのご予定でしょうか？小学3年生の息子のいる我が家では、子供を相手に10日も毎日どう過ごすかが悩みの種です。同じお悩みの方も少なくないのではないのでしょうか。

さて、そんな10連休。仕事のことはすっかり忘れてしまいたいとお思いの方も多いかと思いますが、各地の下水道の博物館・科学館や公開施設を親子で訪れ、お父さんお母さんが誇りと情熱を持って働く「下水道」の世界を子供たちに知ってもらう機会にはいかがでしょう。

下水道専門の博物館・科学館としては、首都圏では「東京都虹の下水道館」、「小平市ふれあい下水道館」、首都圏以外では「札幌市下水道科学館」、「名古屋市下水道科学館」、「メタウォーター下水道科学館あいち（愛知県下水道科学館）」があります。例えば、「東京都虹の下水道館」は観光スポットのお台場にあり、ゴールデンウィークイベントも催されるようです。海浜公園での水遊びや商業施設でのショッピング、日本科学未来館やFテレビ、T自動車のショールームの見学などのついでに、一足伸ばしてみてもはいかがでしょうか。

また、内部の見学は平日の事前予約が必要ですが、大阪市の「太閤（背割）下水」や仙台市の「杜の都れんが下水洞窟」は、地上から地下の下水道管を常時見ることが可能です。いずれの施設も、百年以上の時を越えて、現在も現役の下水道管として利用されています。街の散策の途中、ぶらり立ち寄り、下水道の歴史と未来を子供たちに語るのも良いかもしれません。

ご紹介しました施設はいずれも、ありがたいことに「無料」となっていますので、超大型連休で寂しくなったお財布にも優しいです(^\_^)

なお、各施設のホームページで開館日などの最新情報をご確認のうえ、お出かけください。